

自衛官の第一歩、職種のプロを目指して 自衛官候補生修了式で激励



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）新発田地域事務所（所長 2陸尉 櫻井正智）は、6月26日（金）陸上自衛隊新発田駐屯地において、自衛官候補生課程修了式に参列し、自衛官候補生を激励しました。

教育を担当した第30普通科連隊（連隊長 1陸佐 堀口大助）新隊員教育隊において、約3か月の教育課程を修了した85名の自衛官候補生は、遅しく日焼けし自信に満ちた表情を見せていました。式辞の中で連隊長堀口1陸佐は「組織力の根本は団結、規律、士気、そして仲間との信頼関係である。3か月間の教育期間において、その一端を体感することが出来たと思う。この新発田駐屯地を巣立って、それぞれの職種のプロフェッショナルとなることを期待する」と述べられました。

自衛官候補生課程 修了式



また、新潟地方協力本部長は「これからは、自衛官として必要な特技を履修するため、それぞれの教育部隊へ配属となる。絆を大事にし、職種のプロとして技術の習得に努め、信頼される立派な自衛官を目指して頑張ってもらいたい。日本の未来、自衛隊の将来は若い諸官らにかかっている。今後の活躍を祈っている」と祝辞を贈り激励しました。

村上市から入隊した富樫那智自衛官候補生は「厳しい教育訓練も、同期と助け合い乗り越えることができました。教育修了後は、滝ヶ原駐屯地において普通科特技の教育を受けますが、同期との絆を忘れず頑張っていきたいと思います」と語っていました。

新潟地本は、2等陸士へ任官する自衛官候補生の今後の活躍を願うとともに、引き続き今年度の募集業務に取り組んでいきます。